

鎮痛薬の処方について

柏崎総合医療センター ショートレクチャー

研修医 2年 江口英貴

★鎮痛薬 アセトアミノフェン

経口：カロナール 経静脈：アセリオ

1日量は最大4000mgまで処方可能
妊婦・腎機能↓・小児にもいける
肝障害が起こることあり
アセリオは血圧低下の注意
アセリオの投与は15分
(解熱の場合は300mg~600mg)

アセトアミノフェンって効き目悪い？

投与量

時間

投与量 : 500mg以上 (アセリオなら50kg以上なら全量投与)
時間 : アセリオは15分以内。

鎮痛薬 NSAIDs

内服：ロキソプロフェンなど

点滴：ロピオン・ケトプロフェンなど

坐薬：ボルタレン・ジクロフェナクNaなど

貼付：ロキソプロフェンテープなど

注意点 使用回数はそれぞれ添付文書確認
消化性潰瘍は主な副作用
腎機能低下やアスピリン喘息
妊婦には禁忌

NSAIDs潰瘍の予防

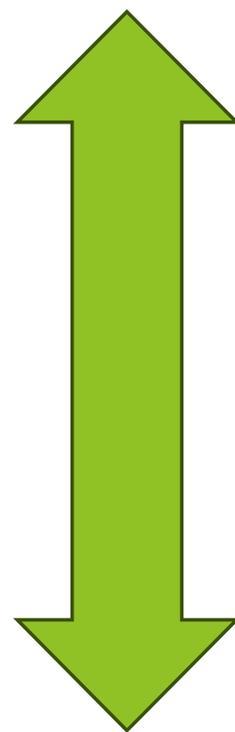
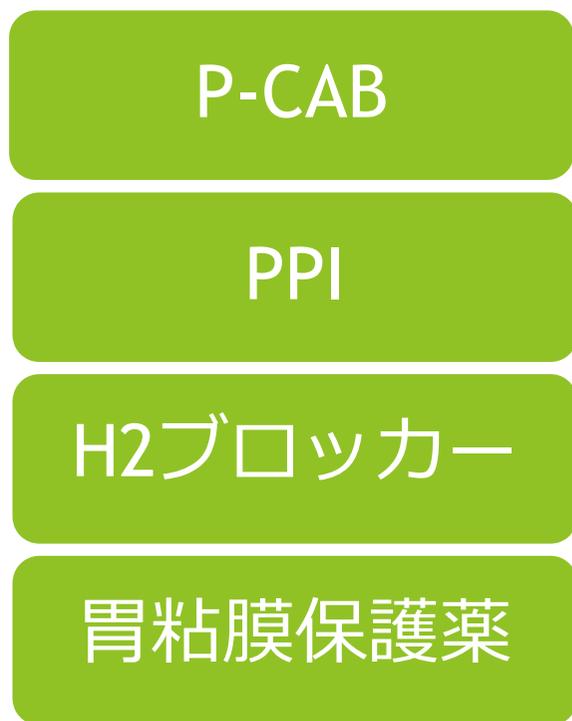
P-CAB（タケキャブ）

PPI（ランソプラゾール、エソメプラゾールなど）

H2ブロッカー（ファモチジンなど）

胃粘膜保護薬（レバミピドなど）

効果だけ見るなら . . .



強い

弱い

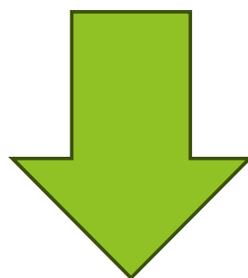
保険適用は大丈夫？

長期の内服であれば、
PPIやP-CABの処方の問題ない

短期はどうなのか？

短期処方の場合は・・・

基本的には保険適応外になりやすい。



NSAIDs + 胃粘膜保護薬 (レバミピドなど)

例外はあるの？

胃潰瘍のリスクが高ければOK

Ex.

長期投与予定、高齢、抗血栓薬内服
潰瘍の既往あり、ステロイドの併用など

他の選択肢として

COX 2 阻害薬（セレコキシブなど）の使用
ロキソプロフェンテープの使用

潰瘍のリスクが低いだけで 0 ではない！！

Take Home Message

- 容量と時間を正しく！
- NSAIDsは副作用も多いから注意を！
- 消化性潰瘍のリスクがあるならPPIを！

余談 薬の値段

タケキャブ10mg	:94.3円	
ランソプラゾール15mg	:11.3円	(先発は倍くらい)
ファモチジン	:10.4円	
レバミピド100mg	:10.4円	

タケキャブって10倍くらい違うんですね・・・

